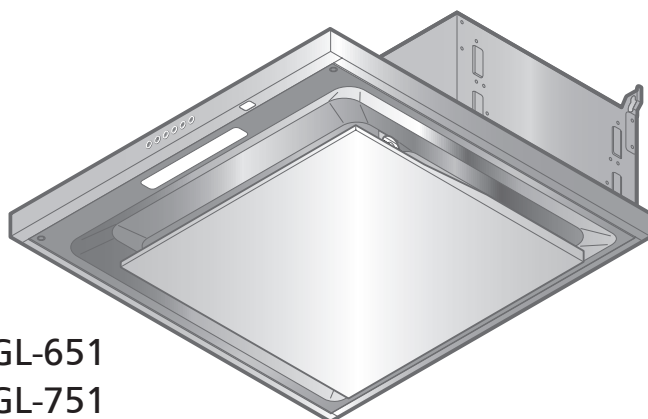


レンジフード

取扱説明書



ANGL-651
ANGL-751
ANGL-951

もくじ

安全上のご注意	2・3
使用上のお願い	4
使いかた	5～7
各部のなまえ	5
操作スイッチ	6・7
お手入れのしかた	8～14
部品の取りはずし	9
部品の取り付け	10
各部品のお手入れのしかた	11
ファンのお手入れのしかた	12～14
故障かなと思ったら	15
仕様	16
アフターサービス	16
修理を依頼されるときは	17

販売店・工事店様へ：

この取扱説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1B02 2582-C



* 1 B 0 2 2 5 8 2 *

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



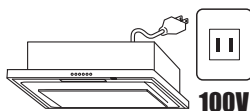
分解・修理
改造禁止

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



プラグを
抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります

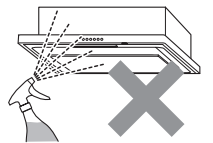


分電盤



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



ほこりを
とる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります



操作禁止

- ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと
爆発・引火のおそれがあります

安全上のご注意

⚠ 注意



運転停止

- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがより強くなり火災の原因になります



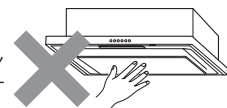
プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードにキズが付き、火災や感電の原因になります



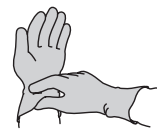
接触禁止

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをするおそれがあります



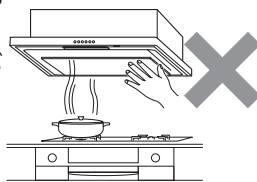
手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



取付注意

- お手入れの際には必ずした整流板やファン、部品の取り付けは確実に
おこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



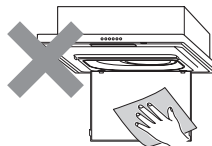
使用禁止

- 製品に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
製品・部品の落下によりけがをするおそれがあります



落下注意

- 整流板をフードから取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



直視禁止

- 点灯中の LED ランプを直視しないこと
目を痛めるおそれがあります



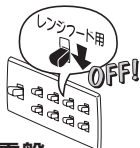
落下注意

- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

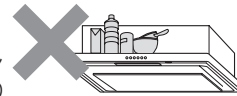


分電盤



禁止

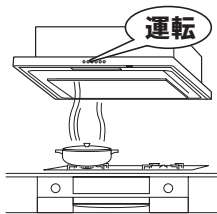
- レンジフードの上に物を置かないこと
落下によりけがをしたり、火災や故障の原因になります



使用上のお願い

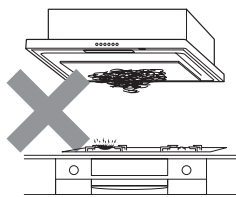
- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります



- 調理機器の空焚きは絶対にしないでください

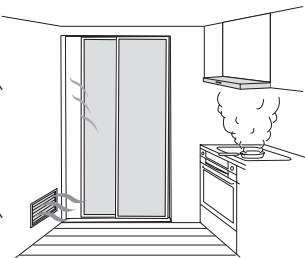
製品の損傷や高熱による故障の原因になります



- レンジフードの運転中は給気をおこなってください

レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください

空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります



- テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、換気連動システムが正常に動作しない場合がありますが、故障ではありません

- 赤外線受信部と照明器具を近づけすぎないでください

照明器具が赤外線受信部から 1m 以内に設置された場合、リモコン操作や調理機器との連動機能が正常に動作しないことがあります

- LED ランプを点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されると、雑音が入る場合があります

その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください

- LED ランプは明るくなるまでに時間がかかります
また、点灯後しばらくは明るさや光色が若干変化します

- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります
レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

- エアコンの風が直接あたらないようにしてください
風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードから漏れやすくなります

- IH クッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、レンジフードがあたたまりにくいいため、結露（水滴）が生じることがあります
お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください

特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください

- グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルが結露することがあります

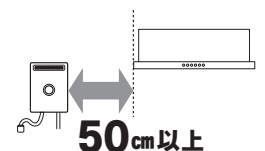
結露した場合は拭き取ってご使用ください

- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります

結露した場合は拭き取ってご使用ください

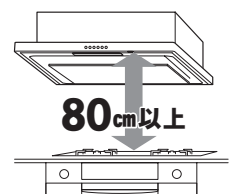
- 湯沸器はレンジフードから 50cm 以上離してください
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



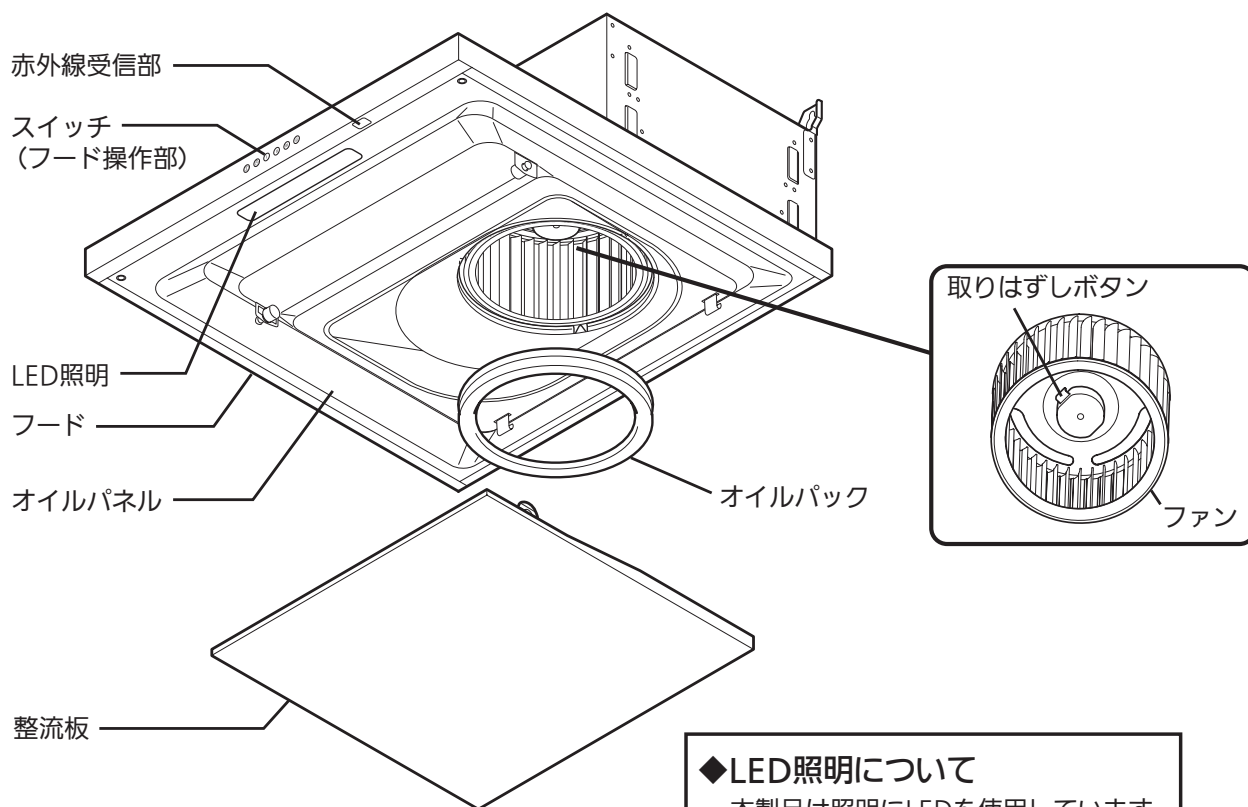
- 製品前面の下端が調理機器の真上、80cm 以上に取り付けてあるか確認してください

火災予防のため、製品下端から調理機器の真上まで 80cm 以上必要です



使いかた

各部のなまえ

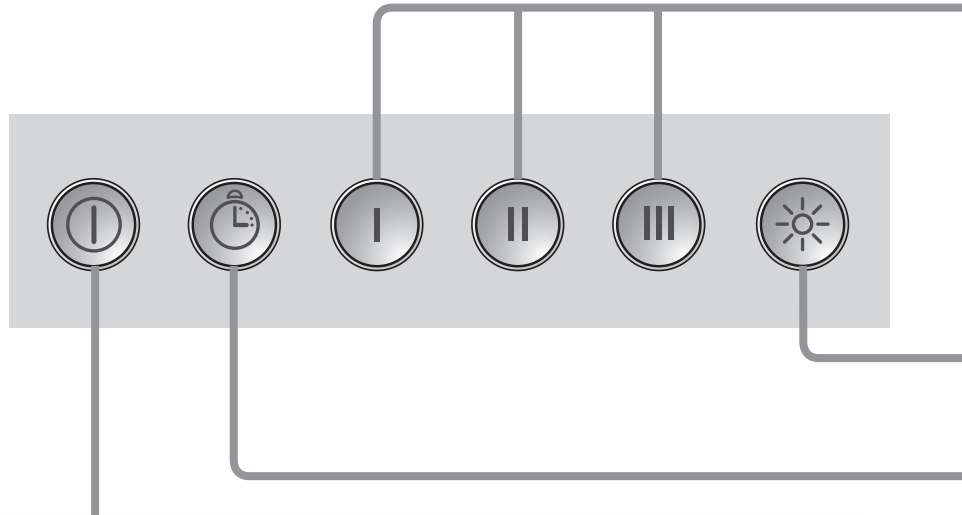
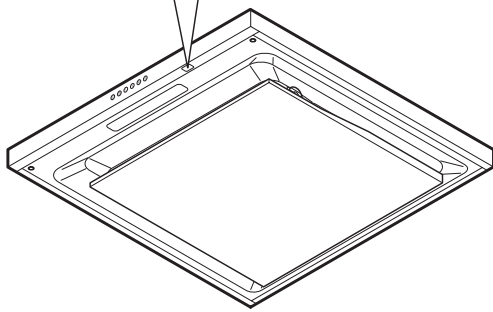


使いかた

操作スイッチ

※ レンジフードの操作には別売リモコンスイッチもご使用になれます。
(リモコンスイッチではスイッチのロック/ロック解除はできません)

リモコン信号受信部
(別売リモコンスイッチ用)



① 切スイッチ スイッチを押すと直ちに運転を停止します。
※ 照明は消えません。☀️を押すと消えます。

スイッチの「ロック」について (操作機能全てが「切」状態になります)

● スイッチを「ロック」するには

- ① スイッチを約3秒間押し続ける
 - 「ピピッ」と音が鳴り、スイッチがロックされます。
 - ファンが停止し、照明が消灯します。
 - ①と☀️の表示が交互に点滅します。
- ロック状態で①以外のスイッチを押すと…
 - 「ピピピ」と警告音が鳴り、右図のように① ② ③ スイッチが順次点滅します。
 - ファン・照明は作動しません。
 - 別売リモコンスイッチの操作もできません。

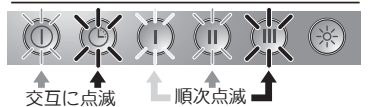
スイッチロックの方法



スイッチロック時の表示状態



スイッチロック時に「切」以外のスイッチを押したときの表示状態



● 「ロック」を解除するには

- ① スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音がして解除されます。ロック解除後は、必要に応じて照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

スイッチロック解除の方法






※ ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態でおこなってください。

※ 停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

使いかた

運転・風量切替スイッチ（弱・中・強）


スイッチを押すたびに押したスイッチが点灯し、風量が切り替わります。

- （弱）：煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
- （中）：通常の運転のとき。
- （強）：煙の多いとき。早く換気したいとき。


照明入／切スイッチ

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。




タイマースイッチ

通常、調理が終わった後は、 スwitchを押してください。スイッチが点灯しそのままの風量で約3分間運転し続け、自動的に運転を停止します。3分間のタイマー運転により、調理の後のにおいやファンについた油汚れなどを落とします。

※タイマー運転が停止した後も照明は消えません。

 を押すと消えます。

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。再び運転するときは、   いずれかのスイッチを押してください。

レンジフード連動タイプ専用調理機器と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理機器を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転をおこないます。この状態からレンジフードのスイッチ操作（切、風量切替、照明）がおこなえます。
- 調理機器を消火した際、レンジフードはそのままの風量で3分間運転を続け、自動的に運転を停止します。照明は消えません。
- レンジフードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理機器前面の操作パネルでもおこなえます。（詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください。）

専用調理機器については当社までお問い合わせください。

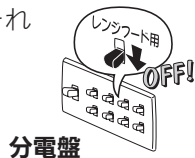
お手入れのしかた

警告



プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります



分電盤



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電のおそれがあります



濡れ手禁止

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと

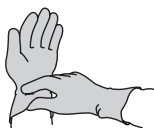
感電やけがをするおそれがあります

注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- お手入れにはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



お手入れの際のお願い

- 調理直後のお手入れはしない
 - ・ 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- お手入れはこまめにする
 - ・ 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
 - ・ 早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。

● 中性洗剤を使う

- ・ おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードの油污れ落としに最適な、当社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お申し込み・お問い合わせは裏表紙をご覧ください。



- 金属ブラシやタワシなどの硬いもので拭き取らない
 - ・ 処理面をキズ付けますので使用しないでください。

● 熱湯は変形のもと

- ・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● ファンを変形させない

- ・ ぶつかけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● ファンをはずした状態では運転しない

- ・ ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。

● 食器洗い乾燥機は使用しない

- ・ 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装はがれるおそれがあります。

ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。
お申し込み・お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

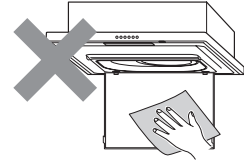
部品の取りはずし

⚠ 注意



落下注意

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
 - 整流板をフードから取りはずさず、右図のような状態でお手入れをしないこと
- 落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



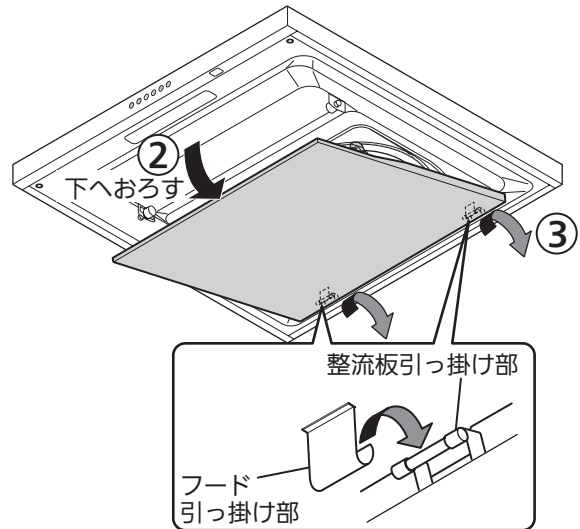
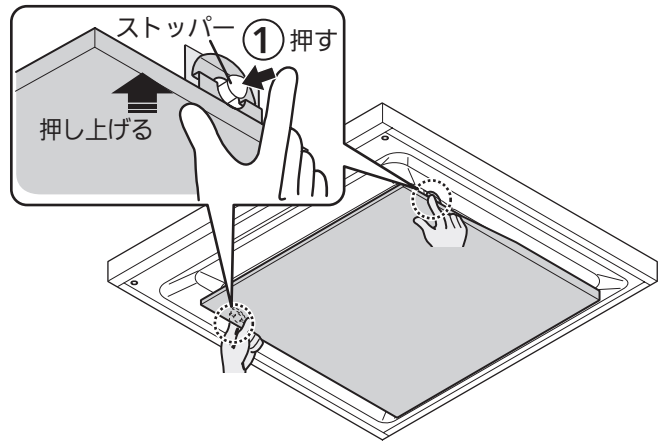
■整流板をはずす

- 1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押してはずします。
- 2) 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりおろします。
- 3) 整流板の後ろを持ち上げ、フード引っ掛け部からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
金具の変形の原因になります。

お願い

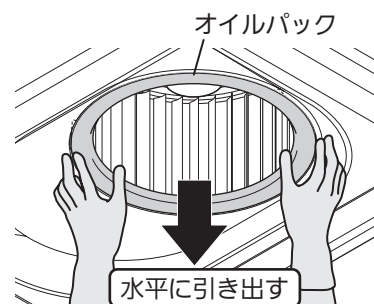
- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板や金具を変形させないようにご注意ください。
変形させてしまった場合、整流板が取り付けなくなるおそれがあります。



■オイルパックをはずす

オイルパックの油をこぼさないように両手で水平に保ちながら下側に引いて本体からはずします。

※ ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。



お手入れのしかた

部品の取り付け

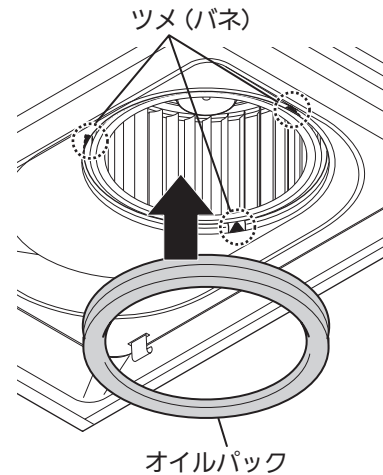
1 オイルパックを取り付ける

オイルパックを両手で支え、突き当たるまで奥に押し込んで取り付けます。

※取付部に3ヶ所のツメ(バネ)があります。「カチッ」という音がするまで奥に差し込んでしっかりと固定してください。

お願い

- オイルパックの固定は確実にこなってください。不完全な取り付けは落下の原因になります。



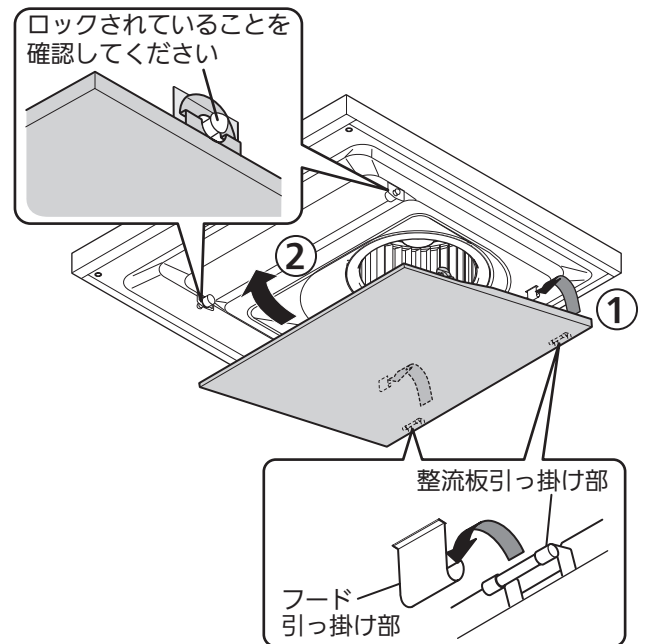
2 整流板を取り付ける

1) 奥側左右の整流板引っ掛け部を、フードに確実に引っ掛けます。

2) 整流板を両手で支えながら手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします。取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。

お願い

- 整流板の固定は、確実にこなってください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。



※ 完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

お手入れのしかた

各部品のお手入れのしかた

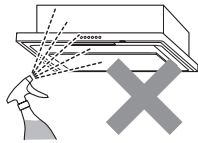
取りはずしのしかた、取り付けのしかたは9・10ページをご参照ください。

警告



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります

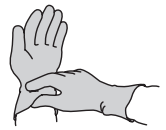


注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



こまめにおそうじしてください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗膜面が変質して塗膜はがれの原因になります。

早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせますし、塗膜面の劣化も防げます。

■ オイルパック (汚れたらその都度お手入れしてください。めやす：1ヶ月に1回程度)

やわらかい布などで油を拭き取り、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。

その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

※ ファンなどについた油はオイルパックにたまりませんが、油料理の頻度が少ない場合には、油はほとんどたまりません。



中性洗剤

お願い

- オイルパックは食器洗い乾燥機に入れしないでください。
塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。

■ 整流板 (汚れたらその都度お手入れしてください。)

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れを拭き取ってください。

その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよく拭き取ってください。



中性洗剤

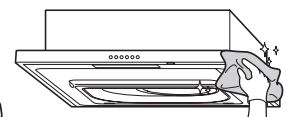
お願い

- 裏面は汚れが強い場合があります。この場合、中性洗剤溶液に浸して、油が落ちやすくなってから汚れを拭き取ってください。
- 整流板は必ずフードから取りはずしてお手入れをしてください。
- はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。
変形・キズの原因になります。

■ フード・オイルパネル (汚れたらその都度お手入れしてください。)

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れを拭き取ってください。

その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよく拭き取ってください。



中性洗剤

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

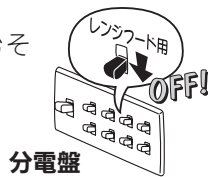
警告



プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること

感電やけがをするおそれがあります



分電盤



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電のおそれがあります



濡れ手禁止

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと

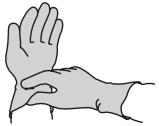
感電やけがをするおそれがあります

注意



手袋をする

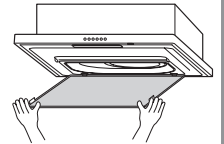
- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- お手入れの際には必ずした整流板やファン、部品の取り付けは確実に起こすこと

落下によりけがをするおそれがあります



お手入れのしかた

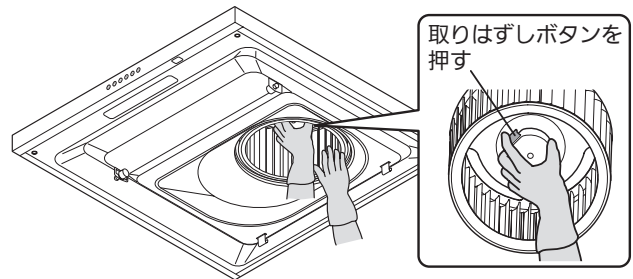
■ ファンのはずしかた

- 1 整流板・オイルパックをはずす
「部品の取りはずし」(→9 ページ) を参照してください。

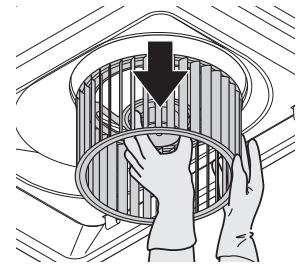
お願い

- 不安定な姿勢で整流板やオイルパックをはずしたり、整流板やオイルパックを落としたりしないでください。落下によるけがや部品のキズ、変形の原因になります。

- 2 ファンをはずす
1) ファン中央側面の取りはずしボタンを押すと、ロックがはずれます。

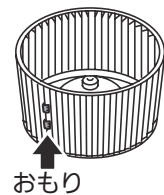


- 2) 下方へ取り出します。



お願い

- ファンを強く押さえたり、ぶついたり、落としたりして変形させないでください。(異常な音や振動の原因になります。)
- ファンの回転バランスをとるために、おもり(クリップ状の金具)がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因になります。)



■ ファンの洗いかた

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
汚れがひどいときは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きした後、やわらかいスポンジや布で洗ってください。
その後洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



お手入れのしかた

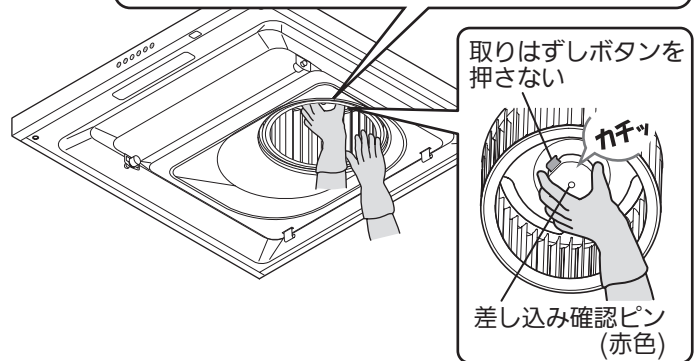
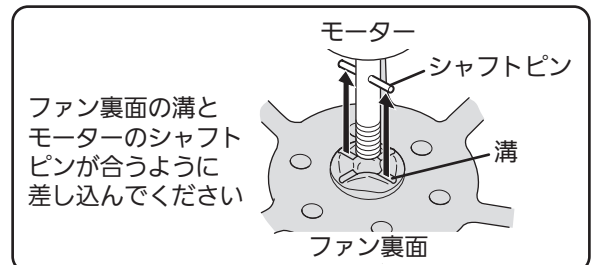
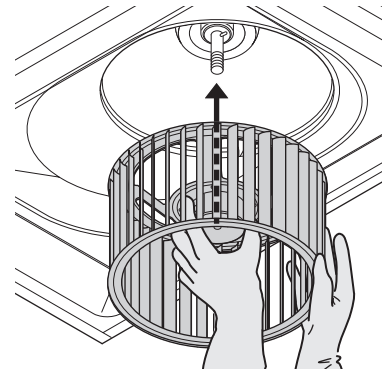
■ ファンの取り付けかた

1 ファンを取り付ける

取りはずしボタンを押さずにファンを持ち、ファン裏面の溝とモーターのシャフトピンを合わせ、差し込み確認ピン（赤色）が飛び出すまで差し込んでください。取り付け後、少しひっぱり、はずれないことを確認してください。

お願い

- ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。（溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりけがをするおそれがあります。）



2 オイルパック・整流板を取り付ける

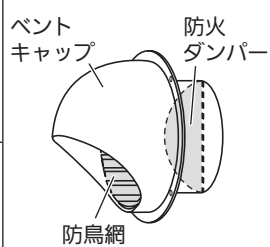
「部品の取り付け」(➡ 10 ページ) を参照してください。

※ 完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない ● ファンがまわらない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ▶ 電源プラグがはずれている。 ▶ ロック状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ▶ 電源プラグを差し込む。 ▶ ロックを解除する。(➡ 6 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● 照明がつかない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コネクターの接触不良か、コネクターがはずれている。 ▶ ロック状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修理を依頼する。 ▶ ロックを解除する。(➡ 6 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンスイッチを操作しても動作しない (別売リモコンを使用している場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電池が消耗している。 ▶ 電池の向きが間違っている。 ▶ リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ▶ ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電池を交換する。 ▶ 電池を正しく入れる。 ▶ 発信部・受信部をそうじする。 ▶ ロックを解除する。(➡ 6 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● 表示ランプが点滅する ● 操作スイッチを押すと警告音が鳴る 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ロック状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ロックを解除する。(➡ 6 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● オイルパックに油がたまらない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ▶ 本体や整流板などに油がついている。(送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ オイルパックに油がたまってから捨てる。(➡ 9 ページ) ▶ フードや整流板についた油はその都度拭き取る。
<ul style="list-style-type: none"> ● 異常音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外からの給気が十分でない。 ▶ ファンの取り付けが不十分。 ▶ オイルパックの取り付けが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ▶ ファンを取り付け直す。(➡ 14 ページ) ▶ オイルパックを取り付け直す。(➡ 10 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● 吸い込みが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外からの給気が十分でない。 ▶ エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ▶ 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ▶ 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ▶ 風があたらないようにする。 ▶ 修理を依頼する。 ▶ 修理を依頼する。



仕様

型名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0Pa	130Pa		
ANGL-651	100	強	50	34	430	430	45	15.0
			60					
ANGL-751		中	50	15	300	—	36	16.5
			60					
ANGL-951		弱	50	10	240	—	31	18.0
			60					

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

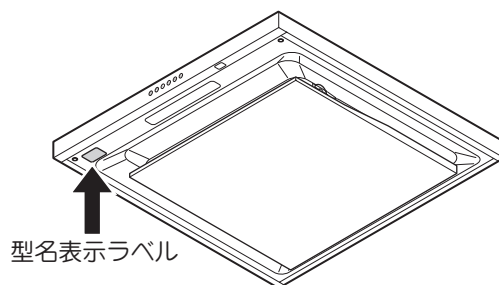
- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

15 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフード
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、オイルパネルの左前方に表示してあります。



お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

★長年ご使用の製品の点検を

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件

日本産業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所 2 410時間/年	
注 a) 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。			

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社 (以下「当社」) は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報 (以下「個人情報」) を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

	購 入 店 名	電 話	()
お客様メモ	(システムキッチンメーカー名 :)
	ご購入年月日	年	月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903 (通話料無料)

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く)



〔製造元〕 **富士工業株式会社**

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く)